

2026年度 わが社の運輸安全マネジメントの取り組み

ウヤマ産業株式会社 本社営業所 (期間：2026年4月1日～2027年3月31日迄)

1、輸送の安全に関する基本的な方針

- 1) 輸送業務に於いて安全に優る物は無い
- 2) 交通法規の遵守、交通弱者を最優先する運転の励行
- 3) コンプライアンス厳守の運行計画の実施

2、輸送の安全に関する目標

- 1) 人身事故件数 0件/月
- 2) 物損事故件数 対前年度件数 以下
- 3) 自動車事故報告規則第2条に規定する事故件数 0件/年

3、輸送の安全に関する計画

- 1) 増車及び代替え時のトラックの導入は新型車両（最新安全装置装着車）とする。
- 2) トラック全車にドラレコ・デジタコ・バックアイカメラ装着する。
- 3) デジタルタコグラフの期間目標値を設定し全運転者が達成する。
- 4) 長距離便のターボ交換を定期的（走行約70万km以内）に実施する。
- 5) 新型車両の導入台数 4t ウイング台7台（全車のバックアイカメラにドラレコを装着）
- 6) デジタコ・ドラレコの危険運転通知メールを活用し迅速に対応する体制を構築する。

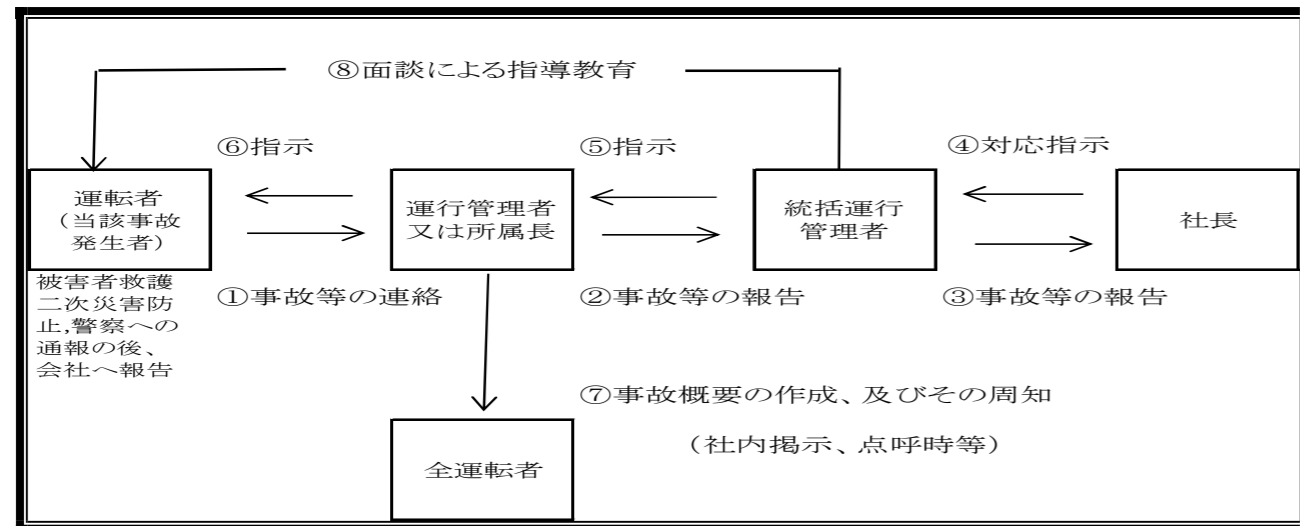
4、安全確保責任に対する社長の取り組み宣言

- 1) 輸送業務を遂行する上で「安全確保」が経営の根幹である事を深く認識する。
- 2) 安全に関する現場の声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分把握する。
- 3) 全社員に対し輸送に於いては安全確保が最も重要であるという意識を徹底させることに主体的役割を果たし又最終的な責任を有する。
- 4) 災害備蓄用セット（備蓄食3 備蓄水3 保温シート1 非常用トイレ3）を全車両に装備。

5、輸送の安全に関する情報の共有及び伝達

- 1) 輸送課は月に一回実施する ISO 会議において社長及び取締役にて事故に関する報告を実施する。
- 2) 安全に関する情報を月単位でまとめ社内に掲示する、又特に重要と思われる事項に対しては当該運転者と運行管理者が面談を実施する。
- 3) 安全に関する運転者からの情報を真摯に受け止め、それを具現化し直ちに実行する。

6、事故災害等に関する報告連絡体制及び指揮命令系統



7、輸送の安全に関する教育及び研修

- 1) 安全マネジメントを策定し、社内掲示し全従業員への周知徹底を図る。
- 2) 月1回の安全についての報告書を作成、社内掲示（点呼事務所）し全運転者の安全に対する意識を高める。
- 3) 社内外の安全講習、危険予知訓練及び安全運転教育を利用した実技を含む研修等を積極的に取り入れる。
- 4) 事故惹起者等に対しては、運行管理者等が面談し技術面、精神面の指導にあたる。
- 5) ドライブレコーダーから危険と思われる画像を抽出し点呼実施場所での画像を流し各運転者が安全に対する意識を高める。

2025年度 安全運転講習実績

講師：南関東日野自動車 山野 慎司	題材① 居眠り運転のメカニズムと予防
講師：佐久間タイヤ 軍地 正巳	題材② タイヤの受容性について
講習時間：約120分	受講人数 91名
2025年 11月 22日(土)	50名
2025年 11月 29日(土)	41名
指導監督指針12項目 1回に4項目ずつを3回に分け当該年度中に実施	

8、輸送の安全に関する内部チェック

- 1) 月一回の品質提案会議で事故発生状況の報告
- 2) 年一回の他部門からの内部監査

9、情報公開に関する事項

- 1) 2025年度の事故実績

項目	目標値	前年実績	今年度実績	評価
① 人身事故件数	0件/月	0件	0件	○
② 物損事故件数	前年度以下	7件	3件	○
③ 自動車事故報告規則第2条に規定する事故	0件/月	0件	0件	○

評価基準：達成＝○ 未達＝×

上記取り組みを、本社営業所、休憩所、自社倉庫事務所3カ所に掲示及びホームページ上で公開する。

2026年4月1日

代表取締役社長 宇山 嘉一